

報道関係者 各位
プレスリリース

2009年 8月 25日
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
代表者名 ケビン ギブソン

グローバル人材紹介会社が分析するアジア主要都市の雇用事情。
2009年第2四半期、「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」を発表。

専門分野に特化したグローバルスペシャリスト人材紹介会社 ロバート・ウォルターズ株式会社（本社：英国ロンドン）は、2009年第2四半期に関する同社のアジア雇用指数を発表しました。

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数（The Robert Walters Asia Job Index）」では、日本、中国、香港およびシンガポールにおける大手求人情報サイトおよび国内紙に掲載された雇用枠に関する求人数を追跡記録しています。
<表 1-2 参照>

主要な所見:

- 2009年第2四半期に掲載された求人広告総数は、第1四半期との比較で6.4%増加し、第2四半期中では2.9%の増加となった。
- 第2四半期は、5月の求人広告が4月との前月比で全体的に減少したものの、その後6月には再び増加傾向に転じた。こうした下落は、中国における5月の休暇シーズンが主な理由。
- 日本では、第1四半期に記録した大幅な減少に歯止めがかかったものの、求人広告数は同期中に3.4%減少。日本での採用活動が、依然として特定分野に限られている傾向がうかがえる。
- 中国の場合は、雇用機会が加速化。小売・IT分野での求人活動が高度の活況を呈する。
- 香港では、6月に新規株式公開が目白押しとなり、金融サービスの求人広告増加に拍車がかかった。
- シンガポールにおいては、設備投資と消費者支出がともに増大し、雇用の需要がさらに拡大。
- グローバル企業がスタッフをアジアへ転属させている実態が一部に見受けられ、外部から求職者を募る需要が減少。
- 2009年第2四半期の広告数値には変動が見られ、同期はいく分高めの推移で終わったものの、採用活動に関しては今なお慎重な姿勢をとる向きが多いことがうかがえる。

ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数

ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数によると、2009年第2四半期における求人広告総数は第1四半期との比較で6.4%増となりました。第2四半期は、第1四半期よりも労働日が多いため、「より満たされる」傾向にあります。それとは対比的に、第1四半期はクリスマス後の全面的な活動再開への足取りが重く、そうした要因に加えて1月末の中国春節も大きな影響を及ぼしています。そのため、企業が採用活動に本腰を入れて取り組むのも、2月中旬になってからとなっています。

2009年4月には、4地域すべてで求人広告数が増加しており、第1四半期に2008年第4四半期との比較で確認された上昇傾向が継続する状況となっています。香港とシンガポールでは、こうした傾向が第2四半期を通して続き、6月は4月よりも香港で11.2%、シンガポールでは10.7%それぞれ増えています。ただし、中国では5月に休暇シーズンがあり、日本市場は低調な市況が続いたため、5月はこれらの地域で若干減少する結果となっています。6月になり活動が再び活発になったことで、中国は2.5%増で第2四半期を終えています。日本の場合は、6月にいく分高まったものの、それでも6月の求人広告数は4月との比較で3.4%減となりました。

<表1> 2009年第1四半期から2009年第2四半期の求人広告数の推移

	日本	中国	香港	シンガポール	合計
2009年1月	89,429	1,426,731	70,530	48,711	1,635,401
2009年2月	83,423	1,829,883	98,913	57,486	2,069,705
2009年3月	62,754	1,865,932	100,593	57,755	2,087,034
2009年第1四半期 合計	235,606	5,122,546	270,036	163,952	5,792,140
2009年4月	79,902	1,869,374	93,665	56,103	2,099,044
2009年5月	75,423	1,676,407	96,737	58,809	1,907,376
2009年6月	77,196	1,915,657	104,155	62,108	2,159,116
2009年第2四半期 合計	232,521	5,461,438	294,557	177,020	6,165,536
変化率%					
2009年第1四半期 - 2009年第2四半期	-1.3%	6.6%	9.1%	8.0%	6.4%
変化率% 2009年4月 - 6月	-3.4%	2.5%	11.2%	10.7%	2.9%

<表2> 2009年第2四半期 求人広告数の推移—専門職種別

	日本			変化率	中国			変化率
	4月	5月	6月	4-6月	4月	5月	6月	4-6月
リテール/営業/事業開発	27,266	25,956	25,524	-6.4%	544,167	392,795	556,708	2.3%
資産管理	53	62	61	15.1%	0	2	0	0.0%
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	164	162	202	23.2%	203,426	210,508	228,996	12.6%
マーチャンダイジング/購買	0	1	2	200%*	17,297	14,281	12,610	-27.1%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンスオフィサー	93	85	104	11.8%	4,513	3,868	4,198	-7.0%
IT スーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベース アドミニストレーター	3,941	3,622	3,577	-9.2%	190,473	190,275	197,508	3.7%
人事/トレーニング	136	119	190	39.7%	91,299	92,448	95,818	4.9%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	12,577	10,998	11,148	-11.4%	186,949	179,947	191,558	2.5%
編集者/レポーター	55	87	60	9.1%	47,925	45,469	48,741	1.7%
顧客サービス	50	60	88	76.0%	30,845	28,522	29,814	-3.3%
コンサルタント/アナリスト	701	766	864	23.3%	53,554	54,322	57,864	8.0%
芸術/デザイン/クリエイティブ	1,485	1,507	1,511	1.8%	32,983	32,080	33,775	2.4%
広告・マーケティング	338	326	462	36.7%	211,142	204,328	217,418	3.0%
アドミニストレーション/事務/秘書	2,885	3,254	3,392	17.6%	44,985	40,820	43,196	-4.0%
経理/財務	2,028	1,749	2,047	0.9%	130,904	124,407	125,928	-3.8%
その他	28,261	26,942	28,126	-0.5%	78,912	62,335	71,525	-9.4%

5月～6月の変化率

	香港			変化率	シンガポール			変化率
	4月	5月	6月	4-6月	4月	5月	6月	4-6月
リテール/営業/事業開発	11,555	12,039	13,086	13.2%	8,247	9,245	9,629	16.8%
資産管理	1,217	1,178	1,189	-2.3%	454	408	431	-5.1%
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	4,951	5,082	5,573	12.6%	3,926	4,201	4,553	16.0%
マーチャンダイジング/購買	5,099	5,359	5,804	13.8%	601	601	687	14.3%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンスオフィサー	574	621	692	20.6%	268	286	262	-2.2%
IT スーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベース アドミニストレーター	6,430	6,029	6,056	-5.8%	5,025	5,561	5,856	16.5%
人事/トレーニング	1,258	1,201	1,361	8.2%	2,745	3,067	3,112	13.4%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	9,667	10,316	10,868	12.4%	9,210	9,799	9,883	7.3%
編集者/レポーター	477	340	419	-12.2%	177	165	176	-0.6%
顧客サービス	2,403	2,558	2,745	14.2%	2,473	2,474	3,007	21.6%
コンサルタント/アナリスト	2,496	2,558	2,742	9.9%	1,036	977	1,104	6.6%
芸術/デザイン/クリエイティブ	2,037	2,014	2,472	21.4%	1,063	998	1,248	17.4%
広告・マーケティング	5,156	5,707	6,411	24.3%	2,739	2,664	2,906	6.1%
アドミニストレーション/事務/秘書	8,730	8,641	9,383	7.5%	3,690	3,827	4,207	14.0%
経理/財務	14,421	16,990	16,691	15.7%	8,170	8,343	8,267	1.2%
その他	18,625	18,335	20,748	11.4%	7,127	7,587	7,972	11.9%

市場の解説

2009 年第 2 四半期は、アジア全般で求人広告が緩やかに増加しましたが、各地域の月次数値を見ると非常に複雑な実績がうかがえます。香港とシンガポールは 4 月のイースター期間で一定の影響を受けた一方、中国では 5 月の休暇がより大きな影響を及ぼしています。そのため、第 2 四半期の求人広告数増加が持続的回復の兆しであるとみなすのは時期尚早だと思われます。求人広告活動に改善が見られるのは疑いのないことですが、それでも企業が全般的な経済展望に関して依然として慎重姿勢を保っているのは明らかです。

ロバート・ウォルターズ・アジア（日本を除く）のマネージング・ディレクター、マーク・エルウッドは次のように述べています：「年度の第 2 四半期は、通常の場合、第 1 四半期よりも市場全体の状況をより正確に示すものとなります。それは、クリスマスや新年休暇で仕事に戻る時期が遅れ、アジアでは中国における春節の影響により、第 1 四半期の実像が歪んだものとなりがちだからです。全般的に見て、求人広告の掲載は第 2 四半期を通して増加傾向にありましたが、とりわけ香港とシンガポールで顕著な状況となっています。アジア全般で認められた事例として、企業がスタッフを内部的にアジアのオフィスへ転属させる傾向が見受けられました。こうした状況は採用活動にも全般的に影響を及ぼしており、そのような数値から導かれる全体的な警告的教訓を示唆するものであるかもしれません。昨今の市場回復が持続的なものとなる可能性があるとはいえ、「二重底」効果には慎重にならざるを得ません。したがって、第 2 四半期末に見られた求人広告の増加傾向が今年いっぱい続くと判断するのは時期尚早と言えます」。

日本では、採用活動の選択的様相が極めて色濃い状況が続いており、求人広告数は第 2 四半期を通して減少しました。分野別ベースで見た場合、会計や財務が引き続き好調さを保っており、規制圧力の高まりがしかるべき資格要件を備えた候補者への需要を確実なものとしています。とりわけ、バイリンガル候補者の需要が相対的に堅調さを維持しています。日本の企業は大半の IT 業務を特に中国を中心とした海外にアウトソーシングしている実態があるため、IT 要員に対する需要が減っています。そうした理由としては、ひとつに円高の継続があり、IT のアウトソーシングがますます魅力的なものとなっています。人事やトレーニングといった職種でも需要は拡大しており、企業が将来の雇用を見通して人事部門を強化し始めたことがうかがえます。

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社のマネージング・ディレクター、ケビン・ギブソンは次のようにコメントしています：「日本の求人広告数は減少しているものの、当社独自の経験からすると、スペシャリストリクルーターの動きは第1四半期よりも第2四半期の方が活発になっていることがうかがえます。この理由のひとつとして、目標とされるヘッドハンティングが、日本のプロフェッショナル人材採用において重要な役割を果たしていることが挙げられます。そのため、信頼の置ける人材紹介会社に任せる方が、印刷媒体やオンラインで直接広告を掲載するよりもはるかに効果が上がるものとなるのです。また、一部の企業では、最近の人員削減で現行社員にのしかかっている負担を軽減する圧力に直面し、今となってはそうした問題に対処し始めているところも見受けられます」。

中国の場合、5月の数値は休暇時期で大幅に影響を受ける形となりました。それでも、6月の急増は第1四半期に端を發した全般的な上昇傾向が継続したためであり、6月の数値は過去3期間にわたる四半期の中では単独月として最高のものでした。小売業界は相変わらずの堅調さを示しており、チェーン店やファッション・ストアが上海や北京といった主要都市だけではなく、蘇州など他の都市でも相次いでオープンしています。小売業界の売上には力強いものがあり、ビジネス開発を含めたさまざまな職種で採用活動が活況を呈しています。ITでは、中国へアウトソーシングを図る傾向が顕著に続いており、中でもITが地元政府から重点的な促進措置を受けている大連が際立った存在となっています。また、大手ヘルスケア企業が中国への進出拡大を目論んでいる実態もあります。もっとも、マーチャンダイジングと購買は例外で、広告が激減しています。これは、西側諸国消費者の需要減少や中国の製造業に与えるその影響によって波及効果が及んでいるためです。

ロバート・ウォルターズ・チャイナのディレクター、カーター・ヤンは次のように述べています：「信頼度は強まっており、小売やマーケティング分野での需要が特に高まりを見せています。IT業界が享受しているサポートの拡大やしかるべき資格要件を備えたIT請負業者に関する需要レベルの高まりは特筆に値するものです。全般的には、企業の間で職種を募り広告を打つ積極的姿勢が高まっているように思われますが、その後に雇用機会は減少し始めています」。

香港では、企業のほとんどが「様子見」の慎重な姿勢を4月にとっています。特に規模が小さめの企業では、極めて注意深い姿勢でコスト管理に臨まざるを得ず、そうした状況が広告支出額の削減につながりました。もっとも、それ以降、一定の信頼回復が見受けられ、香港証券取引所における株式市場上場を目論む企業も、6月にはそれ以前の12ヵ月全体より増加しています。こうした傾向は金融サービスの採用状況に波及効果を及ぼしており、リスク、コンプライアンス、製品管理、ITといったフロント/バック・オフィスの求人需要が拡大しています。銀行は成長の達成に努めていますが、それも今まで以上に高度な効率レベルで取り組む姿勢を見せています。財務報告の要件がますます厳しくなる状況も、ITやより広範な専門サービスの候補者需要を拡大させています。

ロバート・ウォルターズ・ホンコンのマネージング・ディレクター、マシュー・ベネットは次のようにコメントしています：「香港株式市場の活況に刺激されて、金融サービス分野が成長計画を打ち出すまでの状況となっていますが、効率的拡大が重要視されています。銀行は特定分野に絞った雇用を数多く実施していますが、一定の慎重姿勢をとっているとわれ、こうした動向はしばらく続いていくものと予想されます。当社の経験では、商業や工業といった分野は銀行に遅れをとる傾向にあるため、本年度後半以降に関して求人広告活動が全体として大幅に拡大することはないでしょう」。

シンガポールでは、イースター休暇と学校の休みが一定の影響を及ぼしており、4月に求人広告が若干減少したことを裏付けています。もっとも、それ以降はマーケティングや広告の分野が伸長している実態が見受けられ、企業が事業拡大へ向けた支出を増やし始めていることがうかがえます。ロジスティクス業界でも、運送量の落ち込みを経て活動が回復している兆しが見られます。金融サービスでは、雇用凍結や注目度レベルが高い事例はほとんど見当たりません。これは、企業が戦略的雇用を視野に据えているからです。営業やマーケティングといった分野では、堅調な市況が続いています。建設業界も、多くの小売業者が新規開発案件を完了させる時期にあたり、活況を呈しています。また、株式市場で得た利益の再投資を目論むバイヤーの需要に呼応する形で、不動産デベロッパーが新たな物件のマーケティングを手がけている実態も一部に見受けられます。

ロバート・ウォルターズ・シンガポールのマネージング・ディレクター、アンドレア・ロスは次のように語っています：「第2四半期に見られた求人広告の増加は、市場全体の感情を反映してのことでした。商業上の信頼が高まり慎重な楽観姿勢も広がっている実態があり、日々交わされる会話からはクライアント企業が、以前にも増して長期的視野をより明確に備えていることがうかがえます」。

編集者への注釈

ロバート・ウォルターズは、アジア市場における大手スペシャリスト人材紹介会社であり、現在、日本、中国、香港、シンガポール、マレーシアおよびタイを対象とした拠点を保有しています。

データの情報源

ロバート・ウォルターズは、主にミドルからシニアエグゼクティブクラスに関する人材紹介に特化しています。市場の該当セグメント全体について主要な傾向を解説できる能力を有しています。「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」では、以下を対象とした雇用セクションの情報数を追跡しています：

<p>日本</p> <p>Asahi Shinbun (Sunday & Monday morning edition) Nihon Keizai Shinbun (Sunday morning edition) rikunabi-next.yahoo.co.jp doda.jp employment.en-japan.com www.indivision.jp www.careercross.com/en</p>	<p>中国</p> <p>www.chinaHR.com www.zhaopin.com career.ceconline.com www.jobchina.net china.recruit.net</p>
<p>香港</p> <p>Classified Post Career Times (Friday Edition) www.careertimes.com.hk www.monster.com.hk www.jobmarket.com.hk www.jobsdb.com.hk www.classifiedpost.com www.jobs.gov.hk/eng</p>	<p>シンガポール</p> <p>Straits Times (Daily) www.jobstreet.com.sg www.monster.com.sg www.jobscentral.com.sg www.jobsDB.com.sg www.ST701.com.sg</p>

詳細に関するお問い合わせ(英語)：

<p>Robert Walters</p>	
<p>Richard Parnell (リチャード パネール) CEO, Robert Walters Asia Pacific</p>	<p>Tel. +61(0)2 8289 3100</p>
<p>Kevin Gibson (ケビン ギブソン) Managing Director, Robert Walters Japan</p>	<p>Tel: +81(0)3 4570 1524</p>
<p>Mark Ellwood (マーク エルウッド) Managing Director, Robert Walters Asia (ex.Japan)</p>	<p>Tel. +65 6228 0200</p>

◆ ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数の詳細

更に詳しい情報は、ロバート・ウォルターズのアジア雇用指数 (英語) をご覧ください。

www.asiajobindex.com

◆ ロバート・ウォルターズについて

ロバート・ウォルターズ株式会社は、1985年英国ロンドンにて設立され、世界5大陸17カ国の主要都市に38の事業所を有するグローバル人材紹介会社です。

日本では、2000年より事業を開始し、全ての業界を対象に、専門分野に特化した人材紹介および人材派遣サービスを提供しています。

当社は、日系中小企業から大手企業、世界有数のグローバル企業に至るまで、幅広い層のクライアント企業と取引があります。

人材紹介の業種と職種は多岐に渡り、銀行・証券、投資、不動産・保険、経理・財務、IT、法務・コンプライアンス、営業・マーケティング、人事、秘書・サポート業務、物流・購買・サプライチェーン、リテール、サービス業、医療・医薬・バイオ分野を専門としています。

◆ ケビン ギブソンのプロフィール

ケビン ギブソンのロバート・ウォルターズでのキャリアは1994年ロンドンの派遣・契約チームより始まる。様々な海外赴任の経験を経て、2001年 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社の代表取締役社長に着任。

詳細はこちら：http://www.robertwalters.co.jp/company/bio_kevin.html?id=pr_4

【関連リンク】

ロバート・ウォルターズのプレスリリース一覧

http://www.robertwalters.co.jp/company/p_release/index.html?id=pr_2

ロバート・ウォルターズのニュース一覧

http://www.robertwalters.co.jp/news/index.html?id=pr_3

【会社概要】

- 会社名 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
- 代表者 代表取締役社長 ケビン・ギブソン (Kevin Gibson)
- 資本金 1,400万円
- 設立 2000年1月4日
- 所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目12番18号 渋谷南東急ビル14階
- TEL 03-4570-1500 (代表)
- FAX 03-4570-1600
- URL http://www.robertwalters.co.jp?id=pr_1
- Email info@robertwalters.co.jp
- 事業内容 人材紹介・人材派遣・人材コンサルティング業務

【本件に関するお問い合わせ】

- 会社名 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
- 担当者 佐々木 智子
- TEL 03-4570-1598
- FAX 03-4570-1600
- Email Tomoko.Sasaki@robertwalters.co.jp